

ときも見守りネットワーク通信

～いざという「ときも」見守られている安心を～

令和元年 11 月 11 日
(不定期発行) 第 3 号
発行：川越市福祉推進課

これまでの傾向から…

ときも見守りネットワークが始まって3年。今回は、令和元年9月までの報告内容(表1。51件54人)から見える傾向をお伝えします。

1. 80歳以上の単身者が心配・・・

通報対象者の世帯に注目すると(図1)、圧倒的に単身世帯が多いことがわかります。対象者は主に65歳以上ですが、特に80歳以上の方が対象の通報が多く寄せられています。

2. 通報に至ったのは・・・

図2は通報に至った理由をまとめたものです。新聞や食材といった配達物がたまっているなどによる通報がいちばん多く、水道や電気メーターから感じる異変、ごみがたまっているといった生活感の異変、本人の様子が心配、という順になっています。

3. 通報後の状況は・・・

通報後の対象者の状況を示したのが図3です。通報後、民生委員に連絡を取ったり、市職員が行ったりして、安否確認をすると、対象者の無事が確認できることがほとんどです。一方で、残念ながら、亡くなってから発見されるケースも・・・。

<見守りキーワード>

○単身世帯は特に注意

○声かけなどで、孤立する状況を作らない

○小さな変化に敏感に

地域の皆さんが暮らしやすい地域で長く住み続けることができるよう、引き続き、見守り活動にご協力ください。

また、この事業にご協力いただける事業者さまに心当たりがある場合は、積極的にお声がけくださるよう、よろしくお願ひします。

表1 令和元年9月現在までの通報数

	H28	H29	H30	R1
新聞配達	4	5	2	2
水道検針	1	6	3	
宅配	2	3	5	2
牛乳			3	1
配食	1	1		
その他		5	2	3
合計	8	20	15	8

図1 対象者世帯状況

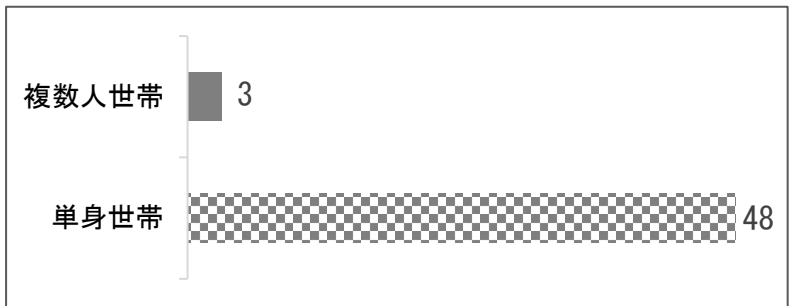


図2 通報事由別集計

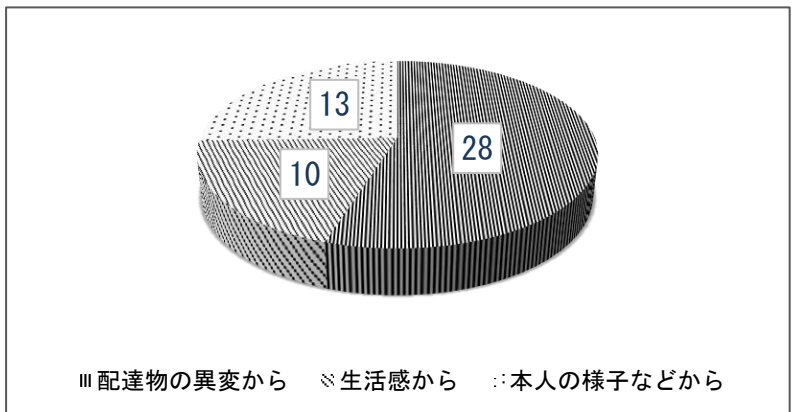


図3 通報後の対応状況

